

Google for Education

はじめての Google for Education

Chromebook と Google Workspace for Education で
実現する1人1台 PC に対応した授業デザイン



Google for Education で、 新しい学びの形を

Contents

- | | |
|---|--|
| P1 … Google for Education で、新しい学びの形を | P19 … 生徒が主体的に参加できる授業づくりをサポートするアプリ |
| P3 … これからの教育の場に最適な Google for Education | P21 … Google ドライブを使いこなそう |
| P5 … Chromebook | P22 … Google フォームを使いこなそう |
| P7 … 各部位の名称と機能 | P23 … Google Meet を使いこなそう |
| P9 … ユーザーごと・端末ごとに利用範囲を安心・安全・最適に管理
Chrome Education Upgrade | P24 … ニーズに合わせて選べるエディション |
| P13 … Google Workspace for Education があれば
子どもたちの学びが変わる | P25 … 「Kickstart Program」でサポート
すべての都道府県・市町村での体験型研修を提供 |
| P15 … 先生と生徒の「新しいつながり」で
学習をサポートする「Google Classroom」 | P27 … よくあるご質問 (Q&A) |
| | P29 … Google Workspace for Education
お申し込み方法のご案内 |

Google for Education は、Google の学校向けパッケージ。
1人1台環境の実現をサポートします。

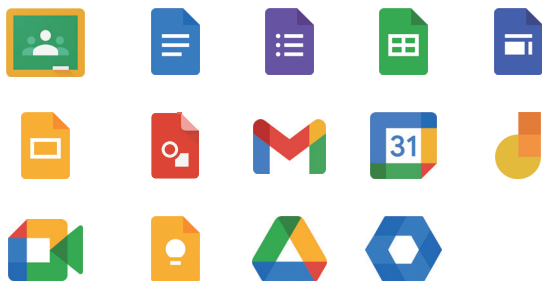
chromebook 先生と生徒のための共有可能な端末



- 7社・16機種（2022年2月1日現在）
- Chrome Education Upgrade
（Google 純正 MDM デバイス ライセンス）
※新規デバイス購入時には再購入が必要となります。
- セキュリティ ソフトなどは不要

Google Workspace for Education

「新しい学び」と「働き方改革」を実現



- クラウドベースの教育プラットフォーム
- アカウント管理機能標準装備
- 教育機関のニーズに合わせて、高度な機能を追加
- 同時編集機能で協働を促進
- クラスの学習管理と遠隔授業を強力サポート

Kickstart Program プロによる導入前後のサポート



- 現地やオンラインでの研修を無償提供
 - ① 「1人1台」利活用促進のための研修パッケージ
 - ② 「1人1台」を効率的に運用管理するための研修パッケージ
- オンライン トレーニングを無料公開
- 認定教育者向けプログラム
- 地域の Google 教育者グループを紹介

これからの教育の場に 最適な Google for Education



最も選ばれている Google for Education

文部科学省による GIGA スクール構想の推進によって、全国の多くの小中学校で子どもたちの 1 人 1 台端末の整備が完了しました。そうした中で、未来を担う子どもたちの学びのために、最も多くの教育現場で選ばれているのが Google for Education です。

Point 1

Google Chrome OS、シェア No. 1

公立小中学校に配布された 1 人 1 台端末の OS の割合調査※1において Google Chrome OS を導入した自治体が **40.1 %**

Point 2

半数以上の自治体が Google Workspace for Education を利用

各自治体におけるクラウド型教育プラットフォームの利用状況の調査※2において Google Workspace for Education を利用の自治体が **54.4 %**

Point 3

Google Chrome OS が評価項目の 7 割で高評価を獲得

全国端末調査における Chromebook 端末、3 OS 評価調査※3において

Google Chrome OS が 21 の評価項目のうち **14 項目で最も高い評価** を獲得

※1「端末の利活用状況等の実態調査」(文部科学省, 2021 年)

※2「GIGA スクール構想実現に向けた ICT 環境整備状況調査」(MM 総研, 2021 年)

※3「GIGA スクール端末の選定における 3 OS 評価と活用課題の調査」(MM 総研, 2020 年)

1人1台端末に最適な Chromebook

GIGA スクール構想では、子どもたちのより豊かで充実した学びの実現や、働き方改革のより一層の推進のためにクラウド・バイ・デフォルト原則に基づいた、十分な高速通信ネットワークと、端末側での処置に負荷がかかりにくいクラウドベースのソフトウェアや、クラウド上でのデータ保存など、シンプルで壊れにくく、メンテナンスの容易なモデルが推奨されています。低予算で導入可能でありながら、必要な機能をすべて兼ね備える Chromebook はこれからの新しい学びと校務の効率化をサポートします。

各 OS 共通で指定されている GIGA スクール構想の標準仕様



GIGA スクール構想に対応した、Google Chrome OS の標準仕様

PC の標準仕様として発表された 3 OS の 1 つである Chromebook は、教育向けに設計され、授業向けに作られた共有可能な端末です。

学校ごとのニーズに合ったモデルが見つけれられるよう、Chromebook はサイズや形状も豊富にご用意しています。



【CPU】 Intel Celeron 同等以上 【ストレージ】 32 GB 【メモリ】 4 GB 【画面】 9 ~ 14 インチ



Chromebook は、学習活動のために設計され、
教室で利用するために作られた端末です。
直観的でシンプルな操作性は、生徒の学びを妨げることなく、
主体的な授業参加や深い学びにつながります。



すばやく起動

10 秒で起動し、セットアップはすぐに完了、
処理速度も低下しません。

常に高速

ほぼすべての機能を Chrome ブラウザ上で使用するため、
余計なアプリがなくシンプルな設計で動作が常にスムーズです。

バッテリー長持ち

安心の長時間駆動^{※1}。充電器を持ち歩かなくても
さまざまな作業をこなせます。

最適な管理

端末ごと・ユーザーごとの制御が可能なので
万が一のトラブルに備えられます。

ウイルスにも安心

安全性を重視した設計。バックグラウンドで数週間ごとに
更新が行われ最新の保護機能が適用されます。

Chromebook があれば、 授業が変わる、学びが変わる。

※1一般的な Chromebook のバッテリー駆動時間は、フル充電で平均 10 時間以上です。

各部位の名称と機能

Chromebook の名称とそれぞれの機能を覚えましょう。

! 仕様はメーカーや製品によって異なります。

※画像のキーボードは US 仕様です。

1 USB 3.1 (Type-C / Gen1)

USB 3.0 と USB 3.1 の規格のコネクタを接続できます。

2 カードリーダー

microSDXC メモリーカード、microSDHC メモリーカード、microSD メモリーカードを読み取るのに使用します。

※実際の機種により異なります。詳細は端末仕様をご確認ください。

3 Web カメラ

ビデオチャットや写真撮影に利用できるカメラを内蔵。

4 ディスプレイ

タッチパネルを搭載した液晶ディスプレイ。タッチパッドを使わなくても直感的に操作ができます。

※機種によってはタッチパネル非対応のものもあります。

5 USB 3.1 (Type-A)

USB 3.0 の Type-A 規格のコネクタを接続できます。

6 マイクロホン / ヘッドホン・コンボジャック

スピーカーやイヤホン、ヘッドホンなどの接続が行えます。

7 ボリューム ボタン

+ と - のボタンがあり、音量を調整できます。

8 電源ボタン

長押しすると電源を切ったり、ロックしたりすることができます。

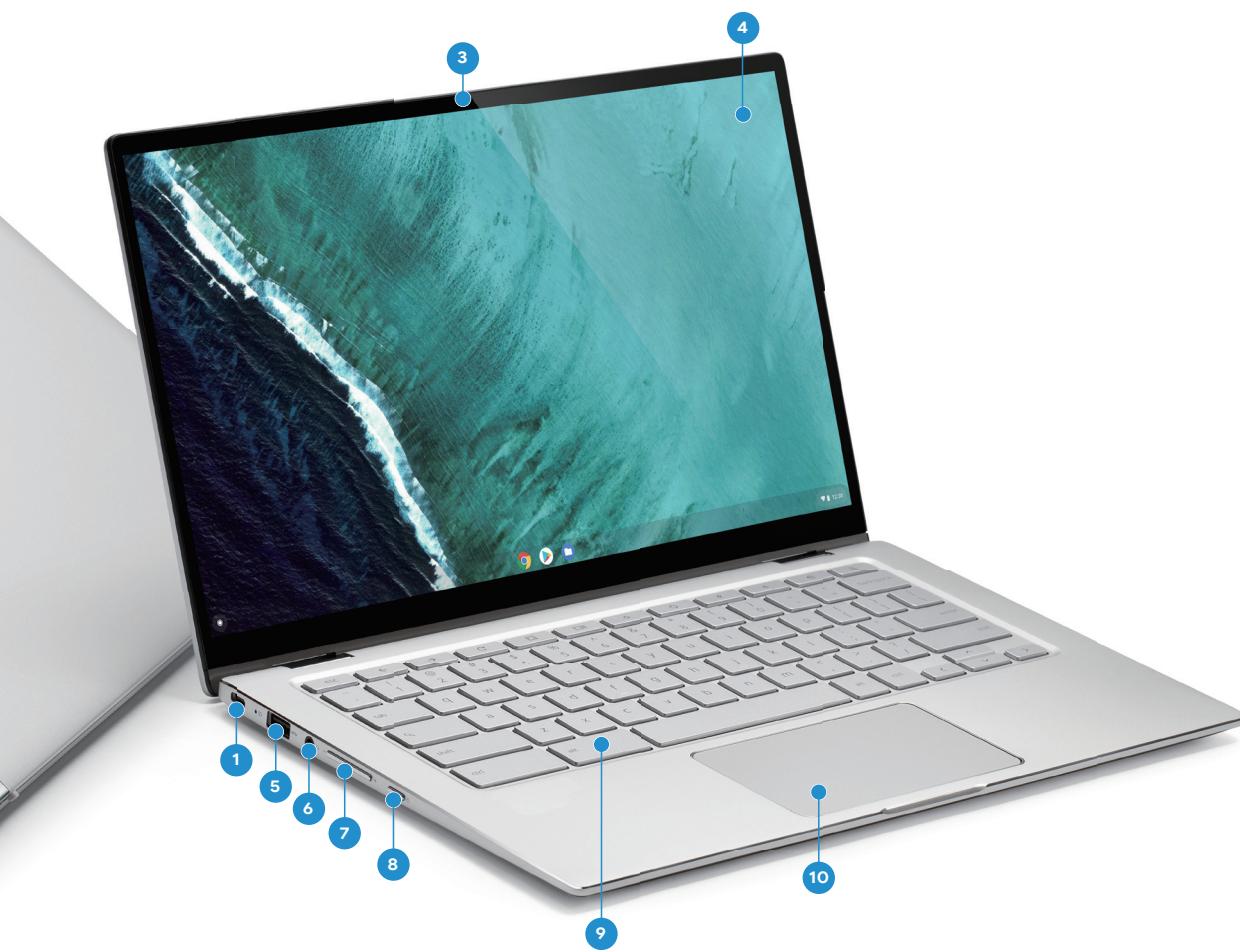
9 キーボード

暗い場所でも快適に入力できるようイルミネートキーボードを採用しています。

10 タッチパッド

指を使って、クリックやポインタの移動といった操作ができます。





CHECK



ディスクでしていたことをすべてクラウド上で

Chromebook では、アプリケーションやファイルなどは
すべてクラウド上で管理されており、大容量のハード ディスクは必要ありません。

ユーザー・端末ごとに利用範囲を安心・安全・最適に管理

Chrome Education Upgrade

(旧称: Chrome Education License / CMC)



Chrome Education Upgrade を使用すれば、管理者のみがアクセスできる管理コンソール(管理画面)から、同じドメインのすべての端末・ユーザーの設定を一元管理できます。

利用できるアプリやセキュリティの変更をログインユーザーごとに設定したり、端末単位で設定を柔軟に組み合わせることができるので、オンライン上で Chromebook を効率的かつ安全に運用していただけます。



端末管理

組織の端末として Chromebook を登録・一元管理できます。



ユーザー別の設定管理

ログインユーザーごとに利用可能アプリやセキュリティの設定を管理することができます。

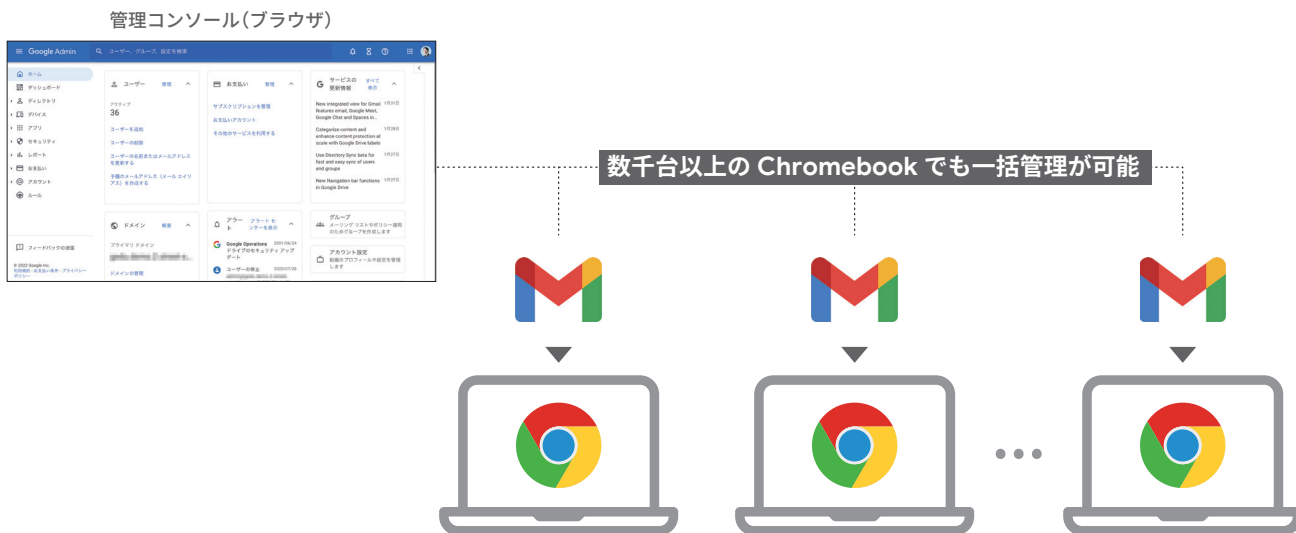


端末ごとの設定管理

ユーザー単位の設定とは別に、端末(管理組織)に対して設定を行うことができます。

**管理画面でアプリも一括設定可能。
授業開始タイミングに、全員に同じアプリを設定することも容易です。**

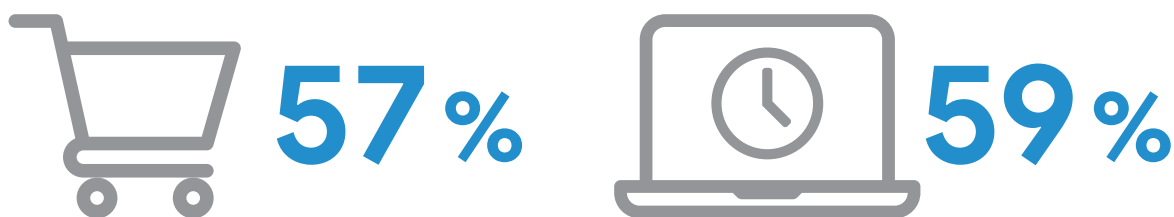
これまで複数の端末を管理、設定する際には、担当の先生が1台1台個別に設定作業を行っていました。しかし、Chromebook なら、直感的でシンプルな画面から数クリックで各種設定を完了させることができます。また、ユーザーごとに管理できるため同じデバイスを複数の生徒で共用することもスムーズです。



使い続ける中で発生する費用を、従来よりも大幅に削減。

Google が提供する純正の端末管理ツール Chrome Education Upgrade をあわせて利用することで、運用中に発生するサポートのための時間も含めた総保有コストを大幅に削減することができます。

総保有コスト(TCO)の計算



他のパソコンや、タブレットと比較した、
3年間の TCO 削減率

端末管理に要するスタッフの
対応時間削減率

52
削減された教師の
年間勤務時間

90%
サポート作業の
削減率

99.9%
稼働率

329%
ROI

¥0
ユーザーあたりの
コスト

出典: IDC Whitepaper

きめ細やかな制限機能で、教育に最適な環境を保持

Q: 1人1台支給すると、知らないうちに余計なアプリをダウンロードしたり、必要なアプリを消したりしたら困ります。

A: 利用可能なアプリを制限できますので、全員同じ環境を保持することができます。

同じ端末でもログインする人によって柔軟に利用環境を変えることができるので、学校関係者と生徒、生徒の中でも学年ごとに利用範囲を変えるなど様々な設定が可能です。例えば、生徒が端末を忘れてきた場合、先生の端末を貸し出したとしても、生徒は自分のアカウントでログインすれば自分の環境で利用できます。



Chrome OS の自動更新で常に安定した動作環境

Q: OS のバージョンが更新されず、使っていたアプリが動かなくなることはありませんか？

A: Chrome OS 更新プログラムでは約 8 年間自動で更新されます。

OS 更新は、自動・手動を選択可能です。また、更新は 1 分程度で適用が完了し、再起動のみで完了するため、授業がストップしてしまうということもありません。

また、Chrome OS は、常に 2 つのバージョンの OS が動いており、どちらかに問題が発生した場合はもう一方に自動で切り替わる設定になっています。



端末ごとの設定が可能

Q: 大勢の人が利用する端末では、データ容量を圧迫しないようにユーザー個別のデータを削除するのが大変なのは？

A: 共用端末の利用目的を限定したり、ログアウトするたびにデータを削除するように設定できます。

共有して利用する端末では、ログアウト時に端末に残されたユーザー個別の情報を自動的に消去するように設定することも可能です。端末ごとに設定を変更できるため、各端末の利用方法に応じたポリシーを設定できます。



トラブルにも安心の対応

Q: 端末を紛失してしまった時の情報漏洩が心配です。

A: 端末にデータを保存しないので、ログインできない限り情報漏洩の心配はありません。

また、管理者は遠隔操作によって端末をロックすることもでき、万が一の不正アクセスを防げます。

Chromebook をどこかに置き忘れてしまったり、なくしてしまったり...といったトラブルがおきた場合には、一時的にログインできないように管理コンソールから設定することが可能です。インターネットに接続ができれば、管理者はどこからでも管理コンソールにログインすることができるので、即時対応が可能です。

Q: ウイルスなどの対策はどうすればいいですか？

A: Chromebook では OS アップデートが自動的に行われるため、常に最新で最も安全なバージョンが動作するようになっています。

手間にかかるウイルス対策は一切不要です。ウイルス対策機能を含む、安全で最新の Google Chrome OS へのアップデートは自動的に無料で行われます。



Google Workspace for Education があれば 子どもたちの学びが変わる

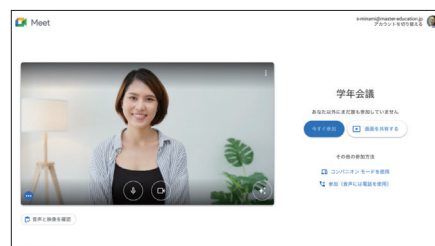
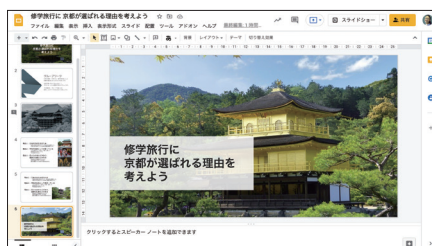
「アイデアの共有」「資料の協働編集」「海外の学校との交流」など、
生徒の主体性を引き出すための活用方法は盛りだくさん。
Google Workspace for Education で学校が、授業が変わります。

すべてクラウド上で運用、
シンプルに利用・管理ができるオンライン教育システム

Google Workspace for Education

Google Workspace for Education は、先生と生徒の双方向のコミュニケーションを実現する学習管理アプリである Google Classroom と、
主体的な授業づくりや校務効率化に役立つ様々なアプリで構成されています。

1人1人に設定されるID・パスワードでログインするとすべてのアプリにアクセスできます。



Google Classroom

先生と生徒の「新しいつながり」で学習をサポート

■ Google が提案する、授業プラットフォーム Google Classroom

これまでは紙で行っていた、課題やテストの配布・回収・結果の管理をオンラインで行うことができます。生徒の反応や課題提出をもとにした個別指導やフォローをすることができます。授業では、議論の題材となる資料の即時共有も可能なので、活発な授業運営に役立ちます。

信頼できるセキュリティ基盤で「新しい学び」と「働き方改革」の推進を支援

Google Workspace for Education のコアサービス

協働 生徒たちの主体的・対話的で深い学びと、校務の効率化をサポート



Google ドキュメント

オンラインで文書を作成、編集、共同編集し、ニーズや学習スタイルに合わせて活用できる



Google スプレッドシート

表計算だけでなく意見集約など多様な活用方法で、リアルタイムに複数人で編集ができる



Google スライド

授業での発表などプレゼンテーションを作成と編集、複数人で共同編集できる



Google Jamboard

オンラインベースのホワイトボードで、アプリケーションでも利用でき、どこからでも参加できる



Google フォーム

簡単にアンケートやテストを作成でき、集計結果は Google スプレッドシートにリアルタイムに反映



Google サイト

保護者に対するポータルサイトなど、情報発信の場として簡単なウェブサイトを容易に作成できる



Google ドライブ

ファイルのアップロード、編集、共有などが行えるデータの保管庫。多様なファイル形式に対応



Google Classroom

直接児童生徒と交流して課題や提出物を管理。児童生徒にきめ細やかな指導ができる

コミュニケーション オンラインでコミュニケーションをさらに円滑に



Gmail

メールの送受信や整理、通知の管理などを行い、様々な学習スタイルに対応できる



Google Chat

個人間やグループでチャットができ、ファイルを共有して素早いコラボレーションができる



Google Meet

学校や自宅から、どんな端末でも、簡単な操作だけでオンライン授業や会議に参加できる

管理 必要な情報を一元管理し、業務の負担を軽減



管理コンソール

強固なセキュリティ対策や、アカウント、端末、アプリケーションの設定など一元管理ができる



Google カレンダー

授業や会議の予定を管理・公開でき、個人用のリマインダーを追加できる



Google Keep

多機能メモツールで、アイデアやタスクを管理でき、他のユーザーとも共同作業ができる

1

先生と生徒の「新しいつながり」で 学習をサポートする「Google Classroom」



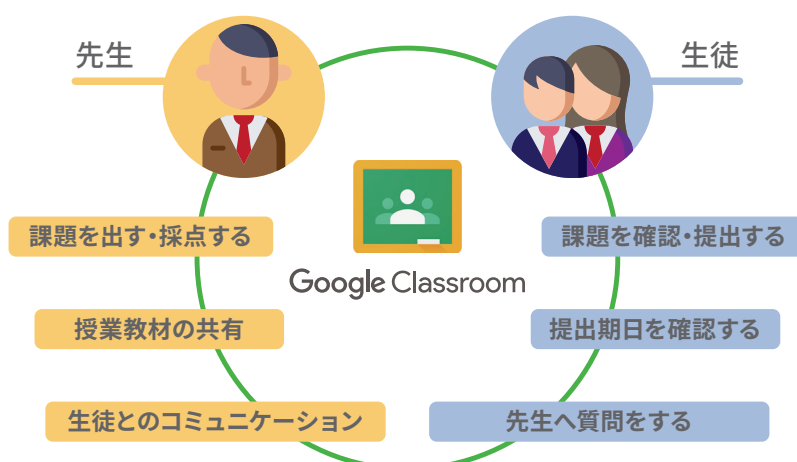
オンライン上で先生と生徒が コミュニケーションを取れる 学習管理アプリ

先生・生徒・クラスをつなげる
オンラインでの学びの場です。

- ・課題の作成・周知
- ・個別のフォローアップ
- ・課題の回収・採点・返却

など、これまで多くの時間と
手間を取られていた
学習管理を効率的に、
ペーパーレスで行うことができます。

Google Classroom ができること



課題の提出～採点～返却の サイクルもスムーズに

課題を「Google Classroom」を介して生徒に配布し、提出期限のリマインドもできます。また、課題回収・採点も「Google Classroom」内で行えるため、従来のような大量の紙の印刷や管理に手間を取られることはありません。



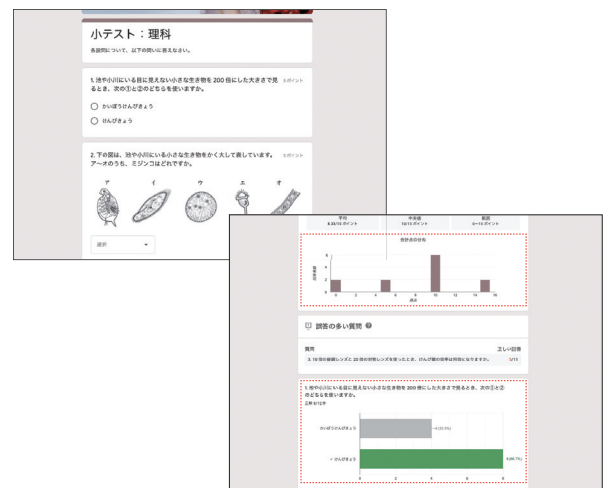
生徒同士の議論の材料として動画や 関連記事の提供、共有もリアルタイムで実現

生徒主体のアクティブ ラーニングの中で議論が行き詰まっていたらヒントとなる動画や関連記事を「Google Classroom」に投稿すれば、即時共有することができます。また、生徒同士で作成途中の発表資料を共有し、学び合いを促すこともスムーズです。



小テストや振り返りシートで 学習成果を確認 フォローアップは個別対応可能

授業の最後に確認テストや振り返りシートの記入を実施し、すばやい理解度確認を行うことができ、必要に応じて個別にフォローアップのための教材や課題を配信することも可能です。

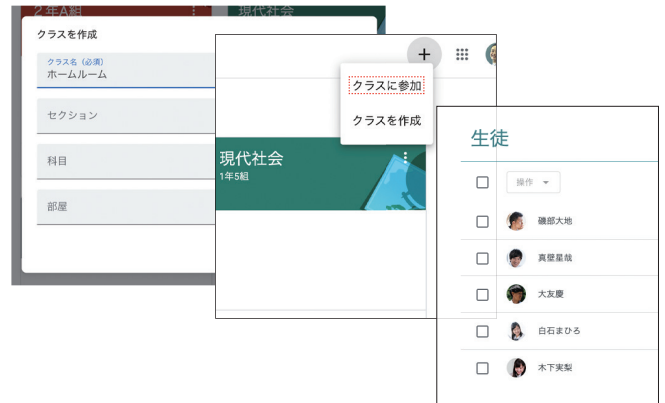




「Google Classroom」を使いこなそう

■ クラスの作成

- クラスは「英語 3-1」など任意のクラスで設定。
担任しているクラス用に「ホームルーム」や「部活」などを作っておくことも。
- 生徒や副担任の先生などを
クラスにメールで招待するか、「クラスコード」を表示して招待。
- [メンバー] のページに参加した生徒名が表示。



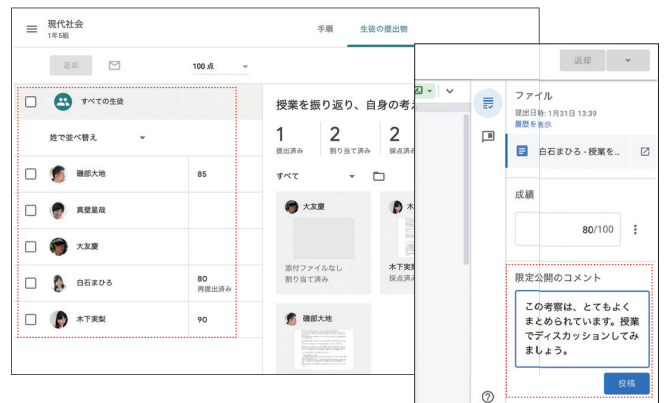
■ 課題の作成と配布

- 作成したクラスの [授業] ページからクラスへ投稿。
動画や URL などの関連資料の配布や質問の投げかけも。
- 課題の提出期限を指定すれば Google カレンダーに自動表示。
事前のアラームで提出忘れを防ぎます。



■ 課題の回収・採点

- [生徒の提出物] から提出された課題を確認。
- 画面上で採点し、フィードバックのコメントをつけることもできます。
コメントは他の生徒からは見えません。
- [返却] ボタンから生徒へ返却。
複数の生徒へ一括返却することも可能です。

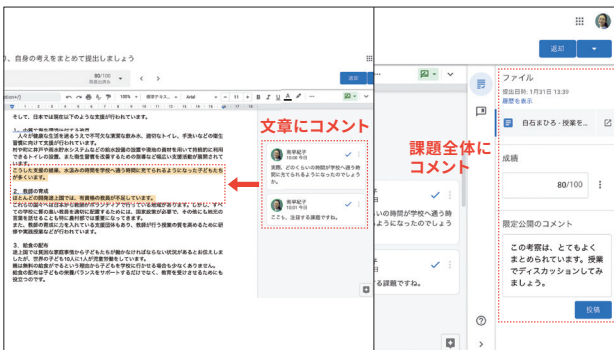


「Google Classroom」の授業活用事例

【事例1】高頻度で細かな学習フォローを実現

「Google Classroom」で課題を出し、意見を求めると、教室での発言が苦手な生徒もオンライン上では積極的に意見を述べたり、反対意見も言いやすかったりと議論が活性化するように。

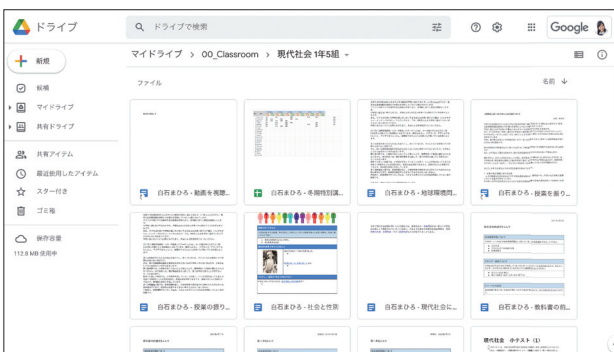
また、課題に対して「コメント」機能でフィードバックし、それを本人にだけに表示するか全員に表示するかも選べ、問題提起やより深く考える視点を提供しやすく、高頻度なやりとりが可能になったというお声をいただきます。



【事例2】生徒の学習記録をポートフォリオ化

大学入試改革で、一般入試でも求められるようになる調査書の提出。学習の記録をポートフォリオ化することが求められます。

すべての学習記録はクラウドに自動保存されるため、さかのぼってどのように成長していったのか確認したり、先生間の引き継ぎ、連携にも活用されているケースも。



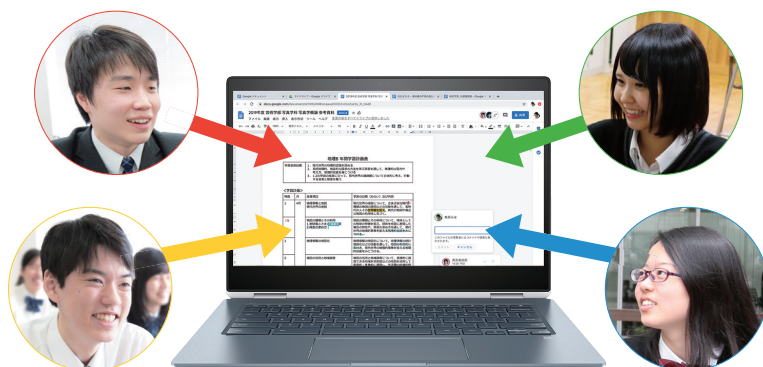
2

生徒が主体的に参加できる授業づくりをサポートするアプリ



グループワークで大活躍

アプリで作成したデータは、複数人での同時編集が可能。
調べ学習の後、グループごとに発表資料をまとめるのもスムーズです。



CHECK

誰が編集したか一目瞭然

世界の気候区分

教科書を読んで、この単元の概要を1枚にまとめてみましょう。

◆世界の気候区分
以下のような区分の方法をケッペンの気候区分と呼ぶ。

気候帯	気候区	主な都市	特色
熱帯	熱帯雨林気候	シンガポール	・1年中気温が高い ・降水量が多い
	サバナ気候	バンコク	・1年中気温が高い ・雨季と乾季がある
乾燥帯	ステップ気候	ウランバートル	・昼と夜の気温差が大きい

資料をグループで編集作業しても、
誰がどこを修正したかがわかるように
マーキングされます。

意見をまとめる・資料を作る、授業で役立つアプリ

Google ドキュメント等で作成したデータは複数人での同時編集が可能です。
授業中の意見交換や、調べ学習の後でグループごとに発表資料をまとめるのもスムーズです。

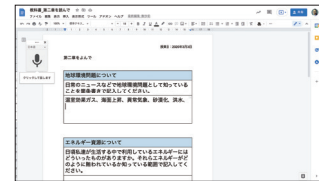


Google ドキュメント

メモから本格的なレポートまで作成できる文書作成アプリ

学期	月	指導項目	学習の目標（ねらい）及び内容
1	4月	地理情報と地図 現代世界の地図	現代世界の地図について、さまざまな時代・地域・用途の地図の役割や特徴を話し、現代の人々の地理的意識、現代の地図や様々な地図の活用を学ぶ。
2	4月	地図の機能とその活用 1. 地理情報と地図 2. 地理情報と地図の活用	地図の機能とその活用について、身体と心身の地理的関わりを話し、身体を地理に活用した活動の事例や、地理的関わりを話し、現代の地理的意識や、現代の地図や様々な地図の活用を学ぶ。
1		地理情報と地図	地理情報と地図について、地理情報の活用や、地理情報の活用を話し、現代の地理的意識や、現代の地図や様々な地図の活用を学ぶ。
2		地図の活用と地理情報	地図の活用と地理情報について、地理情報

資料を共有し、意見を書き込んで黒板の代わりに



「音声入力」機能を使用すれば、即時テキスト表示が可能

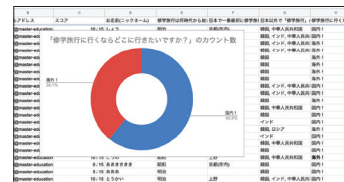


Google スプレッドシート

表作成から高度な関数を利用した集計まで可能な表計算アプリ

学年	学期	単元	領域	国	内容
中学	1学期	第1章	国語	国語	漢文と和歌
中学	1学期	第2章	国語	国語	文化や歴史
中学	1学期	第3章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第4章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第5章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第6章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第7章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第8章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第9章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第10章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第11章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第12章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第13章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第14章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第15章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第16章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第17章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第18章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第19章	国語	国語	現代文
中学	1学期	第20章	国語	国語	現代文

クラスメイトから集めた意見を一覧にして確認



集めた意見を分析して、発表資料に利用

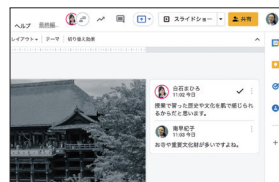


Google スライド

生徒の発表を支援するプレゼンテーションアプリ



スライドを作成



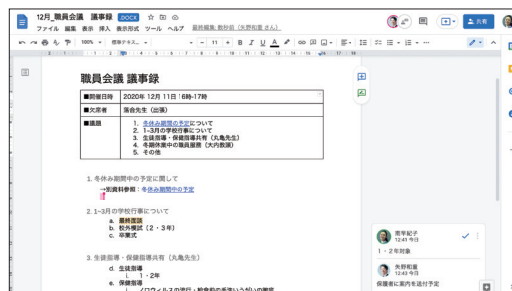
先生やグループのメンバーと共有して意見交換



スライドを使って発表

アプリで Office ファイルの直接編集が可能

Office ファイル形式のデータをそのまま編集・共有が可能です。
フォーマットを崩す心配もなく、既存の資産をそのまま使うことができます。



Office ファイル形式を保ったまま Google ドキュメントで開かれる。変更内容は元の Office ファイルの形式で自動保存。



Google ドライブを使いこなそう

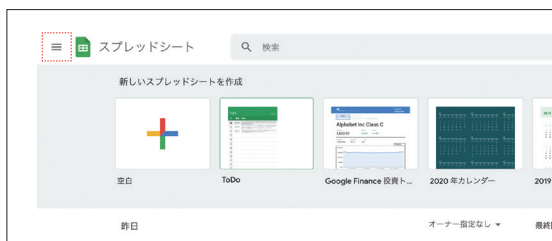
Google for Education では、共有ドライブを利用して学年・クラス・教科など、使いやすい方法で設定可能です。Google ドキュメント・Google スプレッドシート・Google スライドなどの同時編集機能を使えば、Google ドライブ上で生徒の課題も進捗確認をしながら、コメント機能でアドバイスやフィードバックを残すことが可能です。



POINT 1

アプリごとに設定を変更することで、オフラインでも利用可能

ネットワークに接続していない状態でも、ファイルの表示・編集ができるように設定ができます。ファイルごとの設定も可能です。



左上のメニューボタンをクリックします。

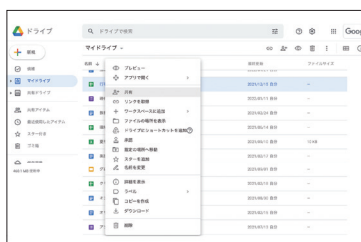


設定メニューから [オフライン] を選択します。

POINT 2

アップロードすれば範囲を指定しての共有が可能

Google ドライブにアップロードしたファイルは、相手を指定して共有することができます。相手によって編集権限を個別に設定することも可能です。



ファイルを右クリックし、[共有] を選択します。



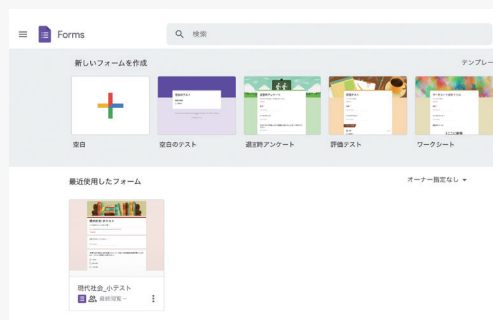
共有する相手と共有権限を設定し、[完了] ボタンを押すと共有完了です。



共有したファイルを右クリックし [共有] を選択すると、共有相手ごとに権限を設定できます。

Google フォームを使いこなそう

Google フォームを使えば、授業中に生徒たちの意見をリアルタイムに集約・集計・可視化できます。簡単な操作で作成でき、テストの作成・配布・回収・採点・再配布などがすべて Google フォーム上で簡単に行うことができます。



POINT 1 リアルタイムで意見を集約できる

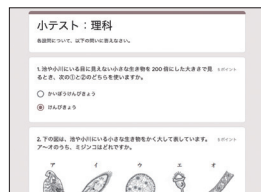
全体の意見をその場で集め、共有し、それを素材に議論をする、という活動が可能です。



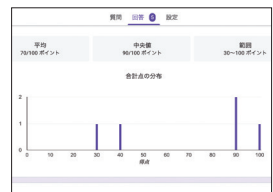
アンケートやミニテストなど、質問フォームを簡単に作成することができます。



作成したフォームは、画面上ですぐに配信できます。



共有されたフォームにそれぞれの端末からアクセスし、回答を入力します。



回答は画面上でリアルタイムに集計し表示。その場で共有することで思考を深めることができます。

POINT 2 テストの実施・採点が手軽になる機能、「テスト オプション」と「自動採点」

「テスト オプション」



生徒が Chromebook を利用している場合に使用できる、フォームの便利な機能で、テスト中の Web 使用制限も可能です。

「自動採点」



事前に正答を設定しておくことで、記述式の問題も自動採点可能です。生徒が回答を終えると、すぐに結果を確認できます。



Google Meet を使いこなそう

Google Meet は離れた場所にいる相手と会話することができる、シンプルで高品質なビデオ通話システムです。このアプリを使って先生と生徒で双方向型のオンライン授業を実施したり、遠く離れた国内・海外の学校の生徒と交流することができます。



参加の準備は整いましたか？

あなた以外にまだ誰も参加していません

今すぐ参加 画面を共有する

その他の参加方法

📺 コンテントモードを使用

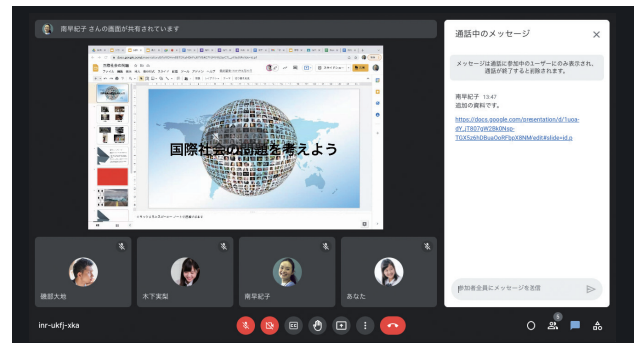
📞 参加 (音声には電話を使用)



POINT 1

生徒との遠隔授業を簡単に始められます

Google Classroom 上にある Google Meet の [参加] から、スムーズにビデオ通話を活用した遠隔授業を開始することができます。画面共有機能を使って資料を見せながら授業を進め、チャットで質問に対応するという双方向の対話も行えます。

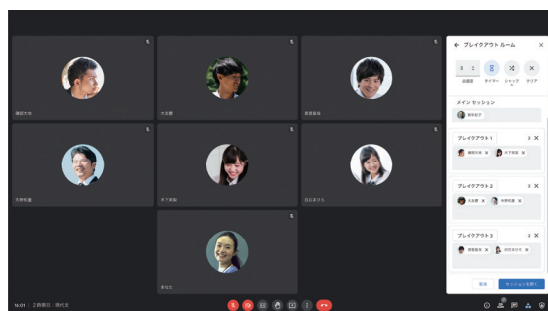


POINT 2

高度な機能でより対話的な遠隔授業を実現

Google Meet のブレイクアウト ルーム*で、遠隔授業でもスムーズにグループワークを開始できます。またアンケート機能**や Q&A 送信機能**によって、先生が生徒たちの意見や質問を画面上で確認することができ、遠隔授業中でもより対話的な深い学び合いができます。

「ブレイクアウト ルーム」



「アンケート機能」



「Q&A 送信機能」



* Google Workspace for Education Plus 及び Teaching and Learning Upgrade にて利用可能です。

ニーズに合わせて選べるエディション

Google Workspace for Education は、多様なニーズに応える 4 つのエディションを提供しています。

無償	Education Fundamentals	連携を強化する無償のツールセット 学習、コラボレーション、コミュニケーションのための 使いやすいツールを無償で提供
	Teaching and Learning Upgrade	高度な学習環境で教育効果を高める 充実したビデオ会議機能、学問的誠実性を促すツールなど学習に変革をもたらす 高度な教育用ツール を提供
有償	Education Standard	強固なセキュリティで組織を管理 学習環境の可視性を高め、管理を強化。リスクを軽減できる 高度なセキュリティ ツールと分析ツール を提供
	Education Plus	充実した教育環境を包括的に実現 高度なセキュリティ ツールと分析ツール、充実した学習向けの機能などを含む 包括的なソリューション を提供

高度な機能の一部をご紹介します

録画機能と最大参加者数アップ

Teaching and Learning Upgrade Education Plus

Google Meet でオンライン授業の様子を録画することができます。録画したデータは自動的に Google ドライブに保存されるので、必要ときに必要な生徒たちへ安全に共有できます。また、エディションの選択によって、最大参加人数※を増やすことができます。

- ※ Teaching and Learning Upgrade : 250 人
- ※ Education Plus : 500 人



セキュリティ センター

Education Standard Education Plus

管理者はセキュリティ ダッシュボードを利用して組織の様々なセキュリティ指標をレポートとして確認することができます。またセキュリティの脅威となる問題をセキュリティ調査ツールで特定し、必要な対処を実行することができます。

「セキュリティ ダッシュボード」



「セキュリティ調査ツール」



BigQuery へのログ出力

Education Standard Education Plus

管理者は Gmail や Google Classroom など Google Workspace のアクティビティ ログを、BigQuery ※に出力することができます。また データポータルなどの分析ツールと組み合わせることにより視覚的に分析することができます。

※ BigQuery の利用には、プロジェクトのセットアップが必要です。
 BigQuery 上のデータ保管、データ処理には月ごとの無料枠をご利用いただけます。 ● 詳細はこちら: <https://cloud.google.com/bigquery>



「Kickstart Program」でサポート すべての都道府県・ 市町村での体験型研修を提供

スムーズに教育現場で Chromebook を活用していただくための支援は充実しています。利用目的や役割に応じて、
多種多様な研修メニューやフォローアップ体制を用意しています。



1人1台の学習者用端末として Chromebook を調達するすべての都道府県 / 市町村での研修を無償で提供いたします。
研修は、管理者向け・教員向けのものがあります。

- ・研修は実機を用いた体験方式です。
- ・研修は40人単位。回数は導入学校数に応じて、最低1回から複数回提供します。

管理者向け研修メニューの例

- ・組織・ユーザーの種類と作成方法
- ・端末管理・ユーザー管理の方法
- ・利用状況の把握方法
- ・運用に役立つ各種機能
- ・組織の設計・設定、グループの作成、権限(サポート、パスワード)の付与

教員向け研修メニューの例

- ・Google Workspace for Education の各種機能紹介
- ・Google Classroom を用いた生徒への課題や資料の配布方法
- ・回答結果の回答分析を自動化したアンケートの運用方法
- ・業務や授業における活用の紹介

Google for Education の導入サポート

初めての ICT 導入も、Kickstart Program をはじめ、様々なサポート体制があります。

Grow with Google



Google がこれまで行ってきたトレーニングにより培われたノウハウを活かした無料のトレーニングを提供しています。様々なトレーニングの中から、要望にあったものを選択して受講できます。



140 以上の Grow with Google パートナーとすべての自治体と教育機関に提供 (2022 年 3 月 31 日現在)

Google for Education の活用ライブラリ



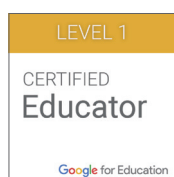
日頃から実践されている全国の先生方による活用アイデアをすべて無料で提供しています。

Google for Education 活用のヒントとなる分かりやすい動画を教材テンプレートとともに用意しています。



230 以上の活用アイデアを掲載 今後も更新予定 (2022 年 3 月 31 日現在)

教育者の認定



教育者が Google ツールを効果的に活用できるようにするために、教育者向け認定教育者資格コースを提供しています。

また、こうした教育者のトレーニングや研修をサポートするための認定プログラムも用意しています。



Google 教育者グループ (GEG)



テクノロジーの活用で充実した教育を実現するために教育者同士が学びあえる場が設けられています。

「学ぶ、共有する、影響し合う、能力を高める」の、4 つが GEG のキーワード。

日本各地の、教育者による教育者のためのコミュニティが立ち上がり、誰でも参加できます。

※各グループは地域のボランティア (GEG リーダー) によって管理され、企業としての Google からは完全に独立しています。

43 都道府県 80 グループが活動中 (2022 年 3 月 31 日現在)



よくあるご質問 Q&A

Q. Chromebook のデータはどこに保存されるのですか？

ファイルデータだけでなく、メールやカレンダーなどすべてのデータをクラウド ストレージで安全に運用できます。また端末が許す容量の範囲で、ローカルに保存することも可能です。

Q. クラウドにデータを保管することに抵抗があります。本当に安全なのでしょうか。

Chromebook で作成したデータは Google ドライブに自動保存されます。クラウド上にすべてのデータを保管することになるのですが、Google のデータセンターは暗号化だけではなく世界中の様々な場所にバラバラに保存され、物理的に盗むことがほぼ不可能とされています。そして、昔から現在まで情報流出で一番多いケースは、人間のミスが引き起こすものと言われています。そういった部分の心配もする必要がなくなり、おのずと高セキュリティが実現します。

Q. 小学校低学年の子供には Chromebook は難しいでしょうか？

多くの Chromebook では、タッチパッドが搭載されており、まだキーボードをうまく使えない子供でもタッチ入力や音声入力を使うことで簡単に Chromebook を使うことが可能です。一部の Chromebook はタブレット モードとしても利用でき、テキスト手書き入力や音声入力にも対応しているため、より直感的に操作することができます。

Q. OS の更新などで、授業開始がストップすることはありますか？

Chromebook ではインターネット接続と同時にバックグラウンドで OS が更新されるため、授業を妨げることはありません。

Q. Google の教育向けソリューションは、文部科学省の「教育情報セキュリティ ポリシーに関するガイドライン」に準拠していますか？

はい。Google Workspace for Education が提供する Gmail、Google カレンダー、Google Classroom、Google ドライブ、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライド、Google Chat、Google Vault や Google Chrome Sync といったコアサービスは文部科学省の「教育情報セキュリティ ポリシーに関するガイドライン」に準拠しています。

Q. Google Workspace for Education 利用規約の準拠法と管轄裁判所について教えてください。

日本における契約書の準拠法は日本法、管轄裁判所は東京地方裁判所です。

Q. Google のお客様データの利用目的はどの程度制限されていますか？

Google が取り扱う児童生徒の個人情報は、教育機関、教師、または保護者・児童生徒によって承認された目的に限りです。

Q. Google は個人情報をお客様に対する広告活動等に無断で使用しませんか？

Google は、Google Workspace for Education のコアサービスにおいて広告の配信はいたしません。

また、コアサービスで収集されたお客様データは、コアサービスと追加サービスのどちらにおいても、広告目的で使用されることはありません。

Q. Google Workspace for Education のお客様データを、第三者へ提供していませんか？

Google が、第三者へ Google Workspace for Education のお客様データを共有することは原則としてありません。

契約時に同意をいただいたうえで、下記の 4 つの場合のみ例外として第三者にお客様データを共有することがあります。

- ・ お客様の同意を得た場合
- ・ Google Workspace for Education のお客様の管理者と共有する場合（管理者は Google Workspace for Education の契約者が指定します）
- ・ Google が業務委託等の外部処理を目的とする場合（外部処理は、Google の指導のもと、Google Workspace for Education プライバシー ポリシーに則り、かつ適切な機密性保持および強固なセキュリティ対策に基づいて実施しています）
- ・ 法的な理由がある場合

Q. Google のお客様のデータに関するセキュリティは万全ですか？

Google のセキュリティ システムは、業界の中でトップレベルの安全性を誇り、Google Workspace for Education のお客様のデータへの脅威から当該データを保護することに尽力しています。

Q. 独立した第三者機関が定める、セキュリティやクラウド サービスに関する国際規格は取得していますか？

はい。ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、SOC 2、SOC 3 等、第三者独立機関による監査を受け、国際標準規格を複数取得しています。

Q. クラウド サービスを利用するには、国内にデータセンターがあるソリューションを選定する必要があると聞きました。

Google Workspace for Education は国内にデータセンターを持っていますか？

Google は自然災害や局地的な事象（停電等）のリスクを軽減するために、データセンターをグローバルなネットワーク上で運営・管理しています。文部科学省が定める「情報教育セキュリティ ポリシーに関するガイドライン」には、「国内にデータセンターがあるソリューションを利用すること」とは書かれておりません。

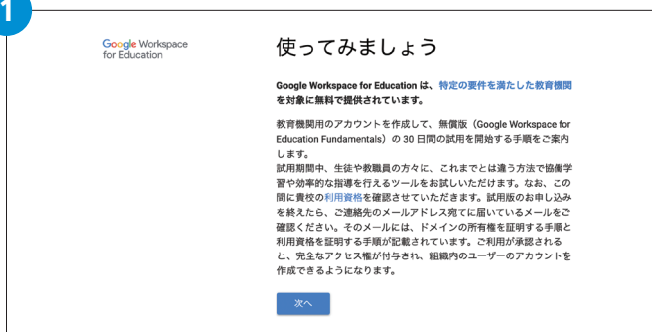
Q. 過去の契約書（参考和訳）に、「保護者の同意が必要」という記述がありました。

すべての児童生徒の保護者に同意をとる必要がありますか。

Google は、Google Workspace for Education の利用にあたっては、保護者同意を求めておりません。最新の契約書の参考和訳をご覧ください。日本では、公立の場合は教育委員会（自治体）、私立は学校がエンドユーザーであり、教育委員会や学校が生徒に代わって利用規約に同意します。また、保護者に同意を求めるか否かは、自治体や私立学校のセキュリティ ポリシーに準じます。自治体のポリシー（条例等を含む）で「Google Workspace のようなクラウド ソリューションを利用する場合は保護者同意が必要」と定めている場合は、学校が保護者同意をとる必要がありますが、あくまで自治体のルールであり、我々事業者がユーザーに求める要件ではございません。

これから Google Workspace for Education をお申し込みされる教育機関のためのガイドとなります。ご登録に際して、各ステップをご参照ください。

1



Google Workspace for Education
(<https://gsuite.google.com/signup/edu/welcome>)
にアクセス



2



教育委員会名もしくは
学校名を入力

- ・ 貴校・貴所で提供している教育の種類を選択

3



ウェブサイトの入力

- ・ xxx.schoolname.com などの URL を記入
- ・ 生徒と教職員の数を選択

4



国と電話番号の入力

- ・ 貴校の所在地(国)と電話番号の入力

5



住所の入力

- ・ 貴校の郵便番号、都道府県、所在地詳細の入力

6



メールアドレスを入力

- ・ 受信できるメールアドレスを入力

7



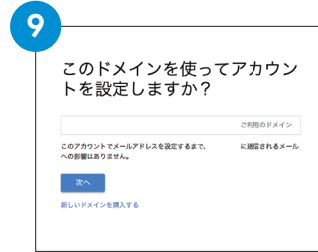
ドメイン所有情報

- ・ [使用できるドメインがある]
 - > 既にドメインをご準備されているドメインで Google Workspace for Education をご利用する場合
- ・ [ドメインを購入]
 - > 新規でドメインを購入し、購入したドメインで Google Workspace for Education をご利用する場合



ドメイン名を入力

- 既にお持ちのドメインを入力



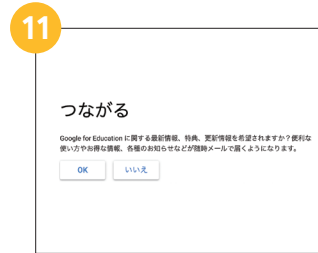
ドメイン名を確認

- 使用するドメイン名を確認



ログイン情報を入力

- 管理者のメールアドレスを作成



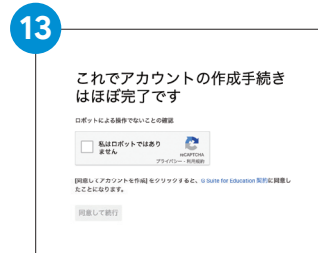
フィードバック

- Google より様々なお知らせなどの受け取りにご協力いただける場合は [OK] をクリック



Google Workspace for Education に関する学校同意書

- 内容をご確認の上、[同意して続行] をクリック



Google Workspace for Education 申し込み完了

- 申し込みに関する入力完了

ドメイン所有権の確認 (* 申請後の設定作業)

Google Workspace のご利用にあたり、ドメインの所有権確認をお願いしています。ドメインとは、ビジネスに関連した名前のついたオンライン上のアドレスです(例: [会社名].com)。ドメインの所有権を確認することで、そのドメインがオンライン サービスで不正使用されたり、メールが貴社からのものであるかのように偽装送信されたりするのを防ぐことができます。

注: Google Workspace のお申し込みにあわせてドメインをご購入いただいた場合、所有権の確認手続きは不要です。

所有権確認の概要

Google Workspace の設定の際、ウィザード画面に、ドメインの設定に使う一意の確認レコードが表示されます。ドメインホストにログインし、このレコードを追加してください。ご利用のホストがわからない場合は、ドメインホストを特定する手順をご覧ください。

レコードの追加が Google で確認されると、ドメインの所有権確認のお手続きは完了です。

所有権確認を開始する

ドメインの所有権確認には、TXT レコードのご利用をおすすめします。

なお、ドメインホストによって、TXT レコードの編集が許可されていない場合があります。その際は、次のいずれかの方法をお試しください。

- CNAME レコードを追加する
- MX レコードを使って確認する
- ウェブサイト経由で確認する

サポートを得る

ドメインホストへのログインや確認レコードの追加に関して問題が発生する場合は、ドメインホストのサポートチームにお問い合わせください。

その他のご質問については、Google Workspace サポートチームにお問い合わせください。お問い合わせは 24 時間年中無休で受け付けております。

Google Workspace for Education へのアップグレード完了

Google for Education



利用台数 5,000 万台以上。
学習のためのパソコンで ICT 教育を支える。



ユーザー数 1 億 7,000 万人以上。
AI 搭載の無料ツールで協働学習を叶える。



ユーザー数 1 億 5,000 万人以上。
課題やコミュニケーションの改善を図る。

簡単

校務や授業準備にかかる
時間を約 59% 削減できる*

* 2019 IDC Whitepaper

手頃な価格

ICT 総合コスト (TCO) を
約 57% 削減できる*

高い汎用性

その場でアイデアを共有、
対話を活性化する

高い効果

学力向上につながり、
未来スキルが身につく

GIGA
スクール
推進

遠隔学習
支援

**GIGA スクール対応、遠隔学習支援、Google for Education 導入に関する、
すべての疑問・不安・懸念、何でもお答えします！**

GIGA スクール推進事務局 / 遠隔学習支援事務局 / Google for Education 事務局
0120-905-860 (平日 9:00 - 18:00) gfe-jp-isr@google.com
【公式サイト】 <https://edu.google.co.jp>



Google for Education
公式サイト

○本冊子に掲載の画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。○記載内容は 2022 年 3 月 10 日現在のものです。

当社が提供するすべてのコンテンツ(著作物、肖像、その他一切の情報)は、当社もしくは、その委託先等が著作権等の知的財産権、使用权、その他の権利を有しています。一部の機能、サービス、アプリケーションは、デバイスやネットワークによって仕様ごとの性能を発揮しない場合や、デバイスやネットワーク、あるいは地域によってご利用いただけない場合があります。追加の利用規約や料金が適用されることもあります。すべての機能とその他の製品 / サービス仕様は、予告なく変更される場合があります。